

【提言1】 ■子どものつまづきをフォローする■

具体方策

- つまづきやすい内容を重点的に指導したり、繰り返して学習する内容を指導計画に効果的に位置付けます。
→道教委作成資料2：「参考資料」P290参照
- 学習状況に応じ、個別指導やグループ別指導などきめ細かな指導を行い、個に応じた指導の充実を図ります。
→事例5（P24）参照
- 単元の終わりなどで、児童生徒の自己評価を位置付け、繰り返し指導や時間をかけて学習した内容が定着しているか、児童生徒自身が把握します。
→道教委作成資料2：「参考資料」P290参照
- 学習状況や児童生徒の実態などに応じた評価問題を活用し、児童生徒が身に付けた知識や技能等や定着に課題が見られる学習内容を把握します。
- 学力調査のA問題を分析し、学習した知識・技能等が確実に身に付けることができる学習指導の工夫を行います。
→事例6（P25）参照

【提言2】 ■学習と日常生活のつながいを意識する■

具体方策

- 児童生徒がこれまで身に付けた学習内容を確認し、今後の学習のどの部分で活用することができるかを考え、自分だけの学習計画を立てて取り組みます。
→道教委作成資料3：「参考資料」P291参照
- 児童生徒がこれまで身に付けた知識・技能等を活用して課題の解決の方策を考えることができる体験活動を位置付けます。
- 実生活における事象との関連を図ったり、身近な素材を用いて学習を展開したりして、児童生徒が自分が身に付けた知識・技能を積極的に活用することができるようにします。
→事例7（P26）参照
- 児童生徒の興味・関心を生かした学習指導を展開し、児童生徒が自分が身に付けた知識・技能を積極的に活用することができるようにします。
→事例8（P27）参照
- 学力調査のB問題を分析し、身に付けた知識・技能を活用して課題を解決するよさを実感するなど、知識・技能を具体的に活用するイメージをもつことができる学習指導の工夫を図ります。

実践提案
＜提言1から＞

■子どものつまずきをフォローする■

【事例5～学習状況に応じ、個別指導やグループ別指導など、個に応じた指導の充実を図ります。】

本校では、「学校改善プラン」の「計画」、「実施」を基に、個に応じた指導をとおして基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、学習意欲を高め、主体的に課題解決に取り組む指導過程や指導方法の工夫に努めている。

釧路管内釧路町立別保中学校（中規模）

〇〇中学校 学校改善プラン		第2学年 数学の実践例 「1次関数」					
検証	<p>■ 毎時間、授業の初めに、復習プリントに取り組み、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。</p>	<p>○ 実態を踏まえ、個に応じた指導を行えるよう、TTによる指導を行うとともに、生徒が問題を選択できるようにしています。</p>					
	<p>■ 複数の問題を提示し、生徒に問題を選択させることにより、学習意欲を高めています。</p>	<p>【本時の目標】 いろいろな事象の中の2つの数量の変化や対応を捉え、1次関数を用いて問題を解くことができる。</p>					
改善	<p>■ 改善策を明確にする。</p> <p>【改善策】 ・生徒一人一人の特性を十分理解し、個に応じた指導を行うよう指導方法の工夫改善を図る。 ・各種検査の結果も考察し、生徒理解を深める。 ・道徳、特別活動における指導の工夫改善を図る。 ・家庭学習の習慣化を一層図るための連携を強化する。</p>	<p>本時の展開（10/10）＝ 生徒の学習活動・教師の働きかけ</p>					
計画	<p>■ 学習内容を確実に習得させる授業を工夫する。</p> <p>・個別指導やグループ別指導等の学習形態を効果的に取り入れた指導計画の工夫 ・習熟度別指導の充実 ・評価活動の充実</p> <p>■ 自主自律を目指す行事等の工夫を図る。</p> <p>・学級活動や生徒会活動などにおいて、自主的・創造的な活動を促進し、生徒自身の意欲化を図る。</p> <p>■ 家庭学習の充実を図る。</p>	<p>復習</p> <p>◆ 復習プリントに取り組む ・3種類の中から生徒がプリントを選択して取り組む。 ◆ 1次関数を用いて答えを見付けよう</p>	<p>留意点と評価</p> <p>T2：Aさんへの個別指導を行う。</p> <p>T1：全体を見ながら個別指導を行う。</p> <p>T2：AさんとBさんに対し、問題2を用いて1次関数の理解を深める個別指導を行う。</p>				
実施	<p>■ 家庭学習の充実を図る。</p> <p>■ 交流の視点に基づいた少人数による話し合いをとおして、習得と活用の基盤となる言語活動の充実を努めます。</p>	<p>見通す</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>問題1 1辺が3 cmのタイルを次のように積み上げていく。段数が増えると変わる数量を探し、6段の時の値を求めよう。</p> </td> <td> <p>問題2 1分間に、5割の水をくみ出せる電動ポンプを使って30%の水が入った水槽から水をくみ出す時、3分30秒で何割くみ出せるか求めよう。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>問題3 気温は、地表から約1万mまでは、千毎高くなるごとに約6度ずつ下がります。Aさんは、奥穂高岳（標高3190m）のふもとにある気温16度の上高地（1500m）にいます。奥穂高岳の気温は何度と予想されますか。</p> </td> <td> <p>問題4 下のグラフは、線香に火を付けてからの時間 x 分と長さ y cm の関係を調べた結果です。この線香は1分間に何 cm 短くなっていますか。 (cm)</p> </td> </tr> </table>	<p>問題1 1辺が3 cmのタイルを次のように積み上げていく。段数が増えると変わる数量を探し、6段の時の値を求めよう。</p>	<p>問題2 1分間に、5割の水をくみ出せる電動ポンプを使って30%の水が入った水槽から水をくみ出す時、3分30秒で何割くみ出せるか求めよう。</p>	<p>問題3 気温は、地表から約1万mまでは、千毎高くなるごとに約6度ずつ下がります。Aさんは、奥穂高岳（標高3190m）のふもとにある気温16度の上高地（1500m）にいます。奥穂高岳の気温は何度と予想されますか。</p>	<p>問題4 下のグラフは、線香に火を付けてからの時間 x 分と長さ y cm の関係を調べた結果です。この線香は1分間に何 cm 短くなっていますか。 (cm)</p>	<p>具体的評価標準 事象の中の数量の変化や対応を式や表、グラフに表して問題を考える。(ノット)</p> <p>努力を要すると判断された場合、表作成をわたし、事象に見られる2つの数量を表にあらわすようにする。</p>
<p>問題1 1辺が3 cmのタイルを次のように積み上げていく。段数が増えると変わる数量を探し、6段の時の値を求めよう。</p>	<p>問題2 1分間に、5割の水をくみ出せる電動ポンプを使って30%の水が入った水槽から水をくみ出す時、3分30秒で何割くみ出せるか求めよう。</p>						
<p>問題3 気温は、地表から約1万mまでは、千毎高くなるごとに約6度ずつ下がります。Aさんは、奥穂高岳（標高3190m）のふもとにある気温16度の上高地（1500m）にいます。奥穂高岳の気温は何度と予想されますか。</p>	<p>問題4 下のグラフは、線香に火を付けてからの時間 x 分と長さ y cm の関係を調べた結果です。この線香は1分間に何 cm 短くなっていますか。 (cm)</p>						
検証		<p>考える・深める・まとめる</p> <p>◆ 自力解決に取り組む。 ◆ 考え方を交流する。 ◆ 同じ問題を選択した者同士が集まり、考え方を交流する。</p> <p>交流の視点 【発表者】 ① 事象のどの数量に着目したか。 ② 問題を解くために、何を聞いたか。 ③ 解答の過程を説明し、発表する。 【聞く人】 ○ 自分との相違を考えながら聞く。</p>					
		<p>振り返る</p> <p>◆ 交流したことを発表する。 ・問題ごとに、解決方法を紹介する。 ◆ 本時を振り返る。 ・生徒が自己評価を行う。</p>					

◆◆ 取組の特徴 ◆◆

本実践は、自校の学校改善プランに基づいて、生徒の学力の向上に結びつくよう授業改善を進める工夫をしています。また、一人一人の生徒にきめ細かな指導を行うため、学習状況に応じて学習形態を変え、効果的な指導を行う工夫をしています。

実践提案
<提言1から>

■子どものつまずきをフォローする■

【事例6～学力調査のA問題を分析し、知識・技能等を確実に身に付ける授業改善を行います。】

北陽小学校 問題分析と指導改善点

石狩管内千歳市立北陽小学校(大規模)

領域	分析と指導改善点		国語科で育成する 資質・能力	言語活動の工夫	実践例
	分析結果と課題	指導改善のポイント			
話すこと・聞くこと	<p>目的や課題に応じて、聞き取った内容をわかりやすくメモにとることに課題がある(A6)</p>	<p>目的を明確にして、要点を簡潔に捉え、箇条書きにするなどの具体的な言語活動を充実させ、メモのとり方についての理解の定着を図る。</p>	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>① 内容や形式を工夫してメモを取ること。</p> <p>② 目的や課題に応じてメモを活用する。</p>	<p>例えば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要な語句や柱となる内容を見出しとしたり、中心分を取り出して要約する。時間軸を中心としたメモの構成や書体の強調などの方法。 ○ メモをどのように活用するか計画段階で見通しをもち、目的を明確にしてメモを取る。 ○ 様々な学習活動の中で、メモを取る場面を意図的に設定したり、メモを取ることを奨励したりする。 	<p>■ メモをどのように活用するかを計画段階で見通しをもち、目的を明確にしてメモを取る実践例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教材名 第4学年「昔のことを調べよう」 2. 教材の目標 昔のことを調べ、調べたことをよくわかるように内容を整理して作文を書く 3. 指導計画 <ol style="list-style-type: none"> ① 教材文を読み、学習のめあてを理解させ、見通しをもつ。 ② 作文例を読み、作文の組立を考える。接続語や文末表現などに着目させる。 ③ テーマを決め、調べ学習の計画を立てる。 ④ 調べ学習やインタビューなどをおして必要な情報を集める。
	<p>分析により明らかになった課題と育成する資質・能力との関連性を十分に考慮し、具体的な改善に向けた指導方法を考えます。</p>			<p>作文を書くことを前提に、必要とする情報はどのようなものか、計画段階で見通しをもたせる。</p>	
言語事項	<p>同音異義語や類似した字形などを区別して的確に使う力が身に付いていない。(A1二)</p>	<p>漢字を書くことの指導においては、文脈の中で活用することで同音異義語や類似した字形などを区別して的確に使えるようにしていく。</p>	<p>【言語事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文脈に合わせて適切に漢字を使う。 ② 語彙力を高める。 ③ 漢字辞典を活用する習慣を身に付ける。 ④ 正しい字形や筆順を理解する。 	<p>例えば…</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 漢字が果たしている役割や働きをおさえる。 ② 学習した漢字が日常生活の中で、どのように使われているかを調べる。 ③ 手元に辞書を置き、積極的に使えるようにする。 ④ 毛筆および硬筆の書写指導の中で、字形や筆順などを確認する。 	<p>■学習した漢字が日常生活の中で、どのように使われていたのか調べる実践例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教材名 第5材学年「和語・漢語・外来語」 2. 教材の目標 和語・漢語・外来語の由来と特質を理解する。 3. 本時の展開 <ol style="list-style-type: none"> ① 学習課題を確認する。 ② 前時にまとめた和語・漢語・外来語の由来と特質を振り返る。 ③ 似た意味の和語・漢語・外来語の漢字や使い方の違いを話し合う。

◆◆ 取組の特徴 ◆◆

本実践は、全国学力・学習状況調査のA問題の分析を進め、基礎的・基本的な知識・技能等が確実に身に付けさせることができるよう、課題点を集中的に取り扱う等の工夫をしています。また、児童自らが学習の計画を立てるなど、基礎的・基本的な知識・技能等の定着を図ることができるような指導の工夫をしています。

実践提案
 <提言2から>

■学習と日常生活のつながりを意識する■

【事例7～実生活における事象との関連を図り、身近な素材を用いた学習を展開します。】

＜学習意欲の向上を図る指導計画の工夫＞

- 単元の指導計画において、単元全体を通した課題を設定したり、単元を振り返る時間を意図的に設定したりすることによって、児童一人一人がめあてや見通しをもって主体的に学習することができるようにしています。

釧路管内鶴居村立幌呂小学校（小規模）

■第4学年(特別支援学級) 算数科「たし算のひっ算」全4時間 1人

目標	時間	主な学習活動	※支援	◆評価
・社会科見学の買い物体験に回って、買い物ゲームをする。	1	○学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">社会見学で、自分一人で買い物をしよう。</div> ○手持ちの金額を当日と同じ、300円に設定し、買えるだけ買う活動を繰り返し行う。	※チェック表を活用し、残金を意識させる。	
・答えが10を超えるたし算ができる。	1	○数の大小を比較する。(1から10) ・10の補数を考える。 ・2つの数の合計を出す。		◆【知識・理解】補数を考え、答えが10を超えるたし算ができる。

社会見学の実施…実体験

子供一人一人の学習意欲を持続するため、学習課題を設定するとともに、算数科の指導種を見直し、社会科(実体験)との関連を図っている。

- 学習課題をつかむ。
- ひっ算を使って「買い物ゲーム」をし。
- ひっ算の書き表し方を身に付ける。
 ・トランプを使って、10を超える足し算の計算方法をゲーム感覚で学習する。

教師は、子どもの変容から、指導計画の重要性を再認識し、各教科、道徳、総合的な学習の関連時間、特別活動など、指導計画の改善・充実に努めるようになった。

■第5学年 総合的な学習の時間「ボランティア新聞を作ろう」全20時間 5人

学習段階	時間	主な学習活動
課題の設定	2	○講師の話をもとに、自分の課題と単元全体の計画を立て、見通しをもつとともに、自分の追究方法を考える。
課題の追究	6	○自分のテーマについて、体験を通して、研究していく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ・点字や手話で話す。 ・施設を訪問する。 ・お年寄りから昔の遊びを教えてもらう。等 </div>
課題の発展	2	○これまでの追究活動を交流し、新聞作りの見通しをもつとともに、新聞作りの方法を知る。
	7	○体験してわかったことや感じたこと、考えたことなどを振り返り、新聞にまとめる。
学習の振り返り	2	○完成した新聞を発表し、お互いに感想を交流する。
	1	○単元の学習全体を振り返り、これからの生活や次の単元の学習に生かすことを考える。

単元の導入に、学習の見通しをもたせ、単元の最後に、子ども一人一人が単元の学習内容や学習方法を振り返るなどして、自分の育ちを実感できるようにしている。

◆◆ 取組の特徴 ◆◆

本実践は、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、実生活における事象を取り上げ、児童が身に付けた学習内容を最大限に活用する工夫をしています。また、児童が自らの学びの成果を継続させることができるような工夫をしています。

【事例8～児童生徒の興味・関心を生かした学習指導を展開します。】

＜子どもたちの興味・関心を高め、学習意欲を高める導入の工夫＞

道徳の時間の導入においては、主題に対する子どもの興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて動機付けを行うことが必要である。本校では、図1にあるように、生活経験や共通体験の想起など、主題にかかわる問題意識をもたせる導入や資料の内容に興味・関心をもちさせる導入の工夫を行うことにより、道徳的価値に迫ろうとする子どもの姿がみられるようになった。実践事例1では、命を大切にする授業の導入に当たり、聴診器で子どもたちが、自分の心臓の音を実際に聴き、五感を通して、自分の命に気づき、道徳的価値の自覚への動機付けを行っている。

胆振管内登別市立幌別小学校（中規模）

図1【導入の工夫と配慮事項】

道徳的価値の自覚への動機付けにつながる導入の工夫	配慮事項
○生活経験や共通の体験(学校行事など)を想起させる。 ○アンケートの結果を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単なるゲーム感覚、クイズ感覚に流れてしまわないように注意する必要がある。 ・あまり時間をかけず、自由な発想で行う。
○写真、実物、ビデオなどによって、五感を通して考える。	
○児童の作文、地域の方の声など、身近な話題を提示する。 ○教師の思いを語る。	

【実践事例1】（第1学年）

- ◇ 内容項目 「生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ」 3-（2）
- ◇ 資料名 「ふしぎなおと」
- ◇ ねらい 自分の中にある命に気づき、生きている喜びを感じさせることで、命を大切にする心情を育てる。
- ◇ 展開

〔授業展開〕

自分の心臓の音を聴診器で聴く活動を取り入れ、自分の体にある命に気付かせることで、本時の学習に対する意欲を高めることができるであろう。

具体的な手立て

聴診器を使い、自分の心臓の音を聴く体験を通して、自分の体にも命があることを気付かせるとともに、生きている喜びを感じさせる。

児童の思考・活動

つ	○録音された心臓の音を聴く。 ・何の音だろう。 ・不思議な音だなあ。 ・心臓の音？	<p>心臓が動いていることを実感し、自分の中にある命に気付かせるため、一人一人に聴診器で心臓の音を聴かせ、価値への方向付けを図る。</p>
か	○聴診器で自分の心臓の音を聴き、感じたことを発表する。 ・不思議な感じがする。 ・音が大きくてびっくりした。 ・心臓が動いていたよ。	

体験を生かした導入を工夫し、ねらいとする価値への方向付けを行っています。

◆◆ 取組の特徴 ◆◆

本実践は、学習のねらいに迫る子どもの問題意識をもたせる導入の工夫をしています。また、五感を通して、実感をともないながら身に付けた知識・技能等を自分なりに活用することができるような工夫をしています。